

◆「安全な深夜勤務に」

ビジネスホテルチェーン「東横イン」(本社・東京)の防犯体制の不備によって、愛知県内の同社ホテルに勤務する20歳代の女性従業員が宿泊客からわいせつな行為を受けたとして、この従業員を支援する労働組合「全国一般東京東部労組」は8日、再発防止を求めて同社に団体交渉を申し入れたと発表した。同労組によると、女性従業員は一人でフロント業務に従事していた9月14日未明、男性宿泊客から客室に呼び出され、体を触られるなどのわいせつな行為をされたという。女性従業員は愛知県警に被害届を提出している。

東横イン女性社員「客から暴行」 職場改善求める

宿泊客に暴行を受けたとしてビジネスホテルチェーン「東横イン」(本社・東京都)の女性社員が、全国一般東京東部労働組合に加入

し、8日、職場環境の改善などを求めて会社に団体交渉を申し入れた。警察にも被害届を出し、受理されているという。

女性は20代。今年4月に入社、愛知県内のホテルに配属された。9月14日未明、宿泊客の男性と、男性がかかわったとみられる派遣型風俗店の従業員がホテル内でトラブルになり、男性に客室に呼び出された。男性に「訴える」などと

言われて謝罪を要求され、服のボタンを外されたり下半身を触られたりしたという。女性はその後、体調を崩して休職している。同社の広報担当者は「団交の申入書をまだ確認していないため、コメントは差し控えたい」としている。